

「新しい発想、新しい感性で、新しい二十一世紀のまちづくり」



平成十九年度施政方針

三芳町長 鈴木英美

鈴木英美町長は、三月二日から開催された平成十九年第二回三芳町議会定例会の冒頭において、平成十九年度の予算案の提出に伴い、町民主体の町政実現に向けて施政方針を表明しました。
ここに、その内容を掲載します。

私は、本年一月、町長に就任し、三芳町が地方分権の時代にふさわしい簡素で、効率的な行政システムを確立するために「新しい発想、新しい感性で、新しい二十一世紀のまちづくり」に挑むことをお約束いたしました。

そのためには、議会をはじめ町民の皆様方の信頼とご協力のもと、何よりも心が中心の「新しい三芳町」を築くため、心血を注いでまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

更なる行財政改革を 目指して

平成十九年度の一般会計予算の歳入につきましては、恒久減税の廃止によります地方特例交付金が減額となりましてが、三位一体改革による国から地方への「税源移譲」に伴い個人町民税が大きな伸びを示すとともに、このところの景気回復により企業業績が好調なため、法人町民税も増額となっております。

また歳出におきましては、人件費・扶助費・公債費等の義務的経費が年々増加しておりますので、平成十九年度の予算編成に当たっては、これまで以上に、限られた財源の重点的かつ効率的配分に努め、継続事業の早期完成と、より一層の促進を最優先に編成をいたしました。

なお、新規事業につきましては、将来の財政負担、町民の利便性、効率性並びに他施設との調和・整合性等を慎重に検討、考慮して決定させていただきます。激動する国際情勢や経済の低成長化、

歯止めのかかない少子高齢化、技術の革新といった時代の変化に対応した行政運営を効率的に行うためには、行財政改革を不断に実行していかなければならないことから、引き続き給与や定員管理の適正化、民間委託の推進など自主的、総合的な改革を計画的に推進し、地域社会の活性化と住民の福祉増進に努めてまいります。

私が公約をさせていただいた中に、住民の皆さんの声を反映する機会として「まちづくり懇話会」の創設がございます。住民と行政が力を合わせてまちづくりを進めていくためには、住民のご意見やご要望を的確に把握する行政姿勢と、住民の皆様がこの懇話会を身近なものとして気軽に参加できる環境づくりが必要であると思っております。このまちづくり懇話会の創設時期につきましては、新年度早々の立ち上げを予定しております。また、行政機構でございますが一部見直しを行い、総合政策室を設置いたしました。種々の政策に取り組むことといたしました。



▲第2回協働のまちづくり学習会におけるパネルトークの様子

生きがいをもって 元気に暮らすために

今日我が国は、政治・経済の激しい移り変わりのなかで、私たちを取り巻く生活環境が大きく様変わりし、それとともに福祉に対する要望も、ますます複雑化、かつ多岐にわたってきております。二十一世紀を迎えた日本は、世界の最長寿命国となり、高齢者人口の占める割合が年々高まってきており、国民の五人に一人が六十五歳以上という長寿社会となってきました。今後、社会の大きな部

分を占める高齢者の方々が、健康で、活力ある生活を送っていくためには、生きがいづくりや地域社会への積極的な参加などが望まれることから、本年度は、ふれあいセンターをはじめとした福祉拠点等における事業への積極的な支援をしてまいります。

昨年、高齢者の生活機能の向上を目指した介護予防施策を強化することから、介護保険制度が改正され、従来の介護給付に予防給付を取り入れた予防重視型の制度といたしました。

また、高齢者世帯や高齢者の一人住まい、認知症高齢者の増加も予想されているため、包括的・継続的なマネジメントを行う必要があり、その拠点となる「地域包括支援センター」を設置することとしました。これからも介護の必要な高齢者の方々が、自立した生活を尊厳をもって送ることができるように、在宅福祉を基本に介護サービスの質と量の両面にわたって整備をすすめるとともに、介護保険事業の健全な運営を図ってまいります。

「みんなで育てよう、三芳の子どもたち」を基本理念とした「次世代育成支援行動計画」では、三芳町の未来を担う子どもたちが健やかに育つ環境作りを努め、住民参加のもと、行政と地域が一体となって行動計画を支援する体制に取り組むこととなっております。女性の社会進出や、核家族化の進行など、女性とその家庭を取り巻く環境が様変わりしていく

なか、子どもの育つ力を伸ばし、子育て家庭が安心して子どもを産み、子育てができるよう、職場や地域の人々の協力していく必要がありませう。こうしたことから、子育て支援策といたしまして、公約の一つでございました小学校修了時までの子どもにかかるとともに東京証券取引所と跡地の開発区域内に建設が予定されております民間保育所の施設整備につきまして、積極的に支援をいたしまして、待機児童の解消を目指してまいります。さらには、子どもたち専用のスポーツ施設づくりの推進など、その環境整備に取り組んでまいります。本年は用地買収を済ませております藤久保の公園用地につきまして、その整備を実施することといたしました。

住民の医療の確保と健康の保持・増進を図るために国民健康保険制度は、極めて重要な役割を果たしておりますが、被保険者の高齢化とともに、医療技術の高度化や疾病構造の変化などにより医療費が著しく増大してまいりました。さらに、経済の低成長などにより保険税の負担能力が弱い方々の加入割合が高くなっていることから、保険税収入が伸び悩みその財政も極めて厳しい状況にあり、事業運営に大きな影響を与えております。本町におきましては、税の公平化を図る意味からも引き続き収納率の向上に努めてま

いりますが、不足する財源につきましては、一般会計の繰出金をもって基盤安定に努めてまいります。

ネットワークを生かした安心なまちづくりへ

みどり豊かな自然を活かした農業・商業・住環境の調和のとれたまちづくりには、市街地の幹線となる都市計画道路の用地取得事業とともに、住宅都市としての基調を維持する住環境整備に繋がる藤久保第一と北松原の両土地区画整理事業の伸展が重要であることから、引き続きその推進と助成に傾注してまいります。また、生活に潤いのある風景や景観を次の世代に引き継いでいくことは、その地域の皆様とのコンセンサスがなくてはこそ可能となることであります。私は、町の歴史文化を活かしながら、地産農業の生産拡大を図る方策といたしまして、引き続き各種農業団体への助成を進めさせていただくほか、さらなる活性化のために、消費者に好評でここ数年取り組みが多くなっております特別栽培有機推進事業につきまして、補助の増額をさせていただくことといたしました。また、地域工業の活性化に向けて、三芳スマートIICを活用した、西の玄関口構想を

目指してまいります。この構想実現に向けては、現在のハイフ化から車種拡大を含めたフルインター化とする第一歩といたしましてスマートIICフル化に向け基本的な図面を策定するための委託料について計上をさせていただいております。これからは、皆様方の積極的なご意見を伺いながら、この地域にしかない、美しい風景と景観に配慮しながら、本町産業のさらなる活性化を図ってまいりますと考えております。

次に、水道事業では、安全で安定した給水を堅持するために、浄水場や町の井戸、配水管等の水道施設を計画的に整備・管理してまいります。また、「住民福祉の増進に資する」という公営企業の究極の目的のため、現状の水道料金体制を維持し、事業運営に取り組んでまいります。また、下水道事業につきましては、生活環境向上の推進のためにも引き続き公共下水道への接続啓発に努め、さらに効率的な運営に努力するとともに、雨水処理対策として、雨水貯留施設の整備や維持管理及び開発行為に対する雨水流出抑制の指導を行い、豪雨時の雨水流出防止に努めてまいります。

感性豊かな潤いのある人づくり

人思いやる温かい心、豊かな感性や想像力、さらに個性的な人づくりを目指し、その学習の拠点となる施設の整備をすすめてまいります。

生涯学習の拠点としての公民館は、中央・藤久保・竹間沢の三館がありますが、特に中央公民館は老朽化が激しいことから、総合的な学習活動拠点として、また、



▶保育所で元気に遊ぶ子どもたち

保健事業や福祉センターなどの機能を備えた複合施設とするための準備を引き続き進めてまいります。また、藤久保公民館につきましては、利用者の声としてエレベーターの設置要望が大変多く寄せられておりますことから、高齢者の方々にも配慮をいたしまして、次年度エレベーター設置に向けまして本年は、その設計作業に着手することといたしました。

学校は、児童・生徒にとって安全で安心な生活が送れる場所であるとともに、確かな学力や豊かな人間性、たくましく生きるための健康や体力を身につけられる場所であるべきであります。

本町では、教育に関する三つの達成目標「学力」「規律ある態度」「体力」に取り組み、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進します。また、町内小中学校の校舎・体育館・武道場の耐震診断がすべて終了していることから、年次別の耐震補強工事整備計画をたてまして、本年は三芳東中学校校舎の耐震補強工事を実施し、安全で安心して学べる教育環境を整備してまいります。

芸術・文化活動は、文化会館「コピスみよし」や各公民館を中心としてすすめられ、少しずつ豊かさを増してまいりました。引き続き様々な分野の特色ある芸術文化を身近な施設で鑑賞し、子どもからお年寄りまでが豊かな芸術文化に親しみ、感動を味わえる機会の提供に努めて

また、みよしまつりにつきましては、住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参



▶フルインター化が期待されている三芳スマートIIC

また、みよしまつりにつきましては、住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参



▲体育館のフィットネスルームにて。ランニングマシンでハッスル!

災害から住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参

災害から住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参

災害から住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参

災害から住民の皆様は夏の終わりを告げるイベントとして十分定着してきていると思われま。これまで多くの方々から協賛や力が添えをいただき実施してまいりました。緩やかな景気回復とはいえ協賛金を募る事務局に配慮するとともに、本年度は、町の管理職員も実行委員として参

加をさせていただきまして、今まで以上に町をあげての一大イベントとさせていただきます。その助成につきましても増額の措置をさせていただきます。再三申し上げておりますように、進展する少子高齢化、格差社会の拡大など今日の地方自治体を取り巻く環境は誠に厳しいものがあり、本町におきましても、非常に厳しい財政状況のなかで、このような変革に対する的確に対応していかなければならないと考えております。第四次総合振興計画の二年目の年度として、目指すべく将来像に向かい、わが町の進む方向を確実に見定め、「住民の皆様が何を求めておられるのか」、「その上で「何を実行することが望ましいか」を明確にしていくことが大切になってきております。本年度は、私にとりましては、町民の皆様から町政を託された最初の年となりますが、地方自治の主役は町民の皆様であります。微力ではございますが、皆様とともに三芳町の確かな明日を拓いてまいり所存でありますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。以上、新しいまちづくりに向けた、私の考え方を述べさせていただきます。私が、常に町民主役の町政実現に向け全力を挙げて運営してまいりますので、議員の皆様並びに町民の皆様の一層のご協力を心からお願ひ申し上げます。十九年度の施政方針といたします。